

令和6年度診療報酬改定の基本方針の検討について

厚生労働省 保険局

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

令和6年度診療報酬改定の基本方針の検討について

- これまでの「診療報酬改定の基本方針」においては、①改定に当たっての基本認識に続いて、②改定の基本的視点と具体的な方向性を示している。
- 令和6年度改定においても、これまでの基本方針の構成をベースとしつつ、近年の社会情勢・医療を取り巻く状況を踏まえたものとしてはどうか。その際、改定に当たっての基本認識や各視点の具体的な検討の方向について、どのようなものが考えられるか。

① 改定に当たっての基本認識

「基本認識」の例	考える記載
(例) 物価高騰・賃金上昇、経営の状況、人材確保の必要性、患者負担・保険料負担の影響を踏まえた対応	(例) ・ 物価高騰・賃金上昇、経営の状況、支え手が減少する中での人材確保の必要性、患者負担・保険料負担への影響を踏まえ、患者が必要なサービスが受けられるよう、必要な対応を行う
(例) 全世代型社会保障の実現や、医療・介護・障害福祉サービスの連携強化、新興感染症等への対応など医療を取り巻く課題への対応	(例) ・ 75歳以上人口の増加と生産年齢人口の減少という人口構造の変化に対応した「全世代型社会保障」を構築する ・ 6年に一度の診療報酬、介護報酬及び障害福祉サービス等報酬の同時改定であることを踏まえ、ポスト2025年のあるべき医療・介護の提供体制を見据え、「治し、支える」医療や個別ニーズに寄り添った介護が地域で完結して受けられるようにする ・ 新型コロナウイルス対策の経験を踏まえ、新興感染症等に対応できる医療提供体制を構築
(例) 医療DXやイノベーションの推進等による質の高い医療の実現	(例) ・ 医療DXを推進し、医療情報の有効活用や医療機関等間の連携を進め、質の高い医療を実現 ・ 医療分野のイノベーションを推進し、創薬力・開発力を維持・強化
(例) 社会保障制度の安定性・持続可能性の確保、経済・財政との調和	(例) ・ 「経済財政運営と改革の基本方針 2023」等に沿った対応を行う

令和6年度診療報酬改定の基本方針の検討について

② 改定の基本的視点と具体的方向性

「基本的視点」の例と「具体的方向性」の例における記述は、前回の議論や中央社会保険医療協議会での議論を参考に整理している。

「基本的視点」の例	「具体的方向性」の例
<p>(例) ポスト2025を見据えた地域包括ケアシステムの深化・推進や医療DXを含めた医療機能の分化・強化、連携の推進</p>	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none">医療DXの推進による医療情報の有効活用、遠隔医療の推進生活に配慮した医療の推進など地域包括ケアシステムの深化・推進のための取組リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携・推進地域医療構想・地域包括ケアを踏まえた医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価新興感染症等に対応できる医療提供体制の構築に向けた取組かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師の機能の評価
<p>(例) 現下の雇用情勢を踏まえた人材確保・働き方改革等の推進</p>	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none">医療従事者の人材確保や賃上げに向けた取組働き方改革に向けての取組の推進
<p>(例) 安心・安全で質の高い医療の推進</p>	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none">食材料費をはじめとする物価高騰を踏まえた対応アウトカムにも着目した評価の推進重点的な対応が求められる分野への適切な評価（小児医療、周産期医療等）口腔疾患の重症化予防、口腔機能低下への対応の充実、生活の質に配慮した歯科医療の推進薬局の地域におけるかかりつけ機能に応じた適切な評価、薬局・薬剤師業務の対物中心から対人中心への転換の推進、病棟薬剤師業務の評価医薬品産業構造の転換も見据えたイノベーションの適切な評価や医薬品の安定供給の確保等
<p>(例) 効率化・適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性の向上</p>	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none">後発医薬品やバイオ後続品の使用促進、長期収載品等の在り方費用対効果評価制度の活用市場実勢価格を踏まえた適正な評価

(参考) 過去の診療報酬改定の基本方針 (基本認識・基本的視点)

	平成28年度改定基本方針 (2015年12月7日)	平成30年度改定基本方針 (2017年12月11日)	令和2年度改定基本方針 (2019年12月10日)	令和4年度改定基本方針 (2021年12月10日)
基本認識	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 超高齢社会における医療政策の基本方向 ➢ 地域包括ケアシステムと効果的・効率的で質の高い医療提供体制の構築 ➢ 経済成長や財政健全化との調和 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 人生100年時代を見据えた社会の実現 ➢ どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる社会の実現(地域包括ケアシステムの構築) ➢ 制度の安定性・持続可能性の確保と医療・介護現場の新たな働き方の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 健康寿命の延伸、人生100年時代に向けた「全世代型社会保障」の実現 ➢ 患者・国民に身近な医療の実現 ➢ どこに住んでいても適切な医療を安心して受けられる社会の実現、医師等の働き方改革の推進 ➢ 社会保障制度の安定性・持続可能性の確保、経済・財政との調和 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 新興感染症等にも対応できる医療提供体制の構築など医療を取り巻く課題への対応 ➢ 健康寿命の延伸、人生100年時代に向けた「全世代型社会保障」の実現 ➢ 患者・国民に身近であって、安心・安全で質の高い医療の実現 ➢ 社会保障制度の安定性・持続可能性の確保、経済・財政との調和
基本的視点	地域包括ケアシステムの推進と医療機能の分化・強化、連携に関する視点【重点課題】	地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進【重点課題】	医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進【重点課題】	新型コロナウイルス感染症等にも対応できる効果的・効果的で質の高い医療提供体制の構築【重点課題】
	患者にとって安心・安全で納得できる効果的・効率的で質の高い医療を実現する視点	新しいニーズにも対応でき、安心・安全で納得できる質の高い医療の実現・充実	患者・国民にとって身近であって、安心・安全で質の高い医療の実現	安心・安全で質の高い医療の実現のための医師等の働き方改革等の推進【重点課題】
	重点的な対応が求められる医療分野を充実する視点	医療従事者の負担軽減、働き方改革の推進	医療機能の分化・強化、連携と地域包括ケアシステムの推進	患者・国民にとって身近であって、安心・安全で質の高い医療の実現
	効率化・適正化を通じて制度の持続可能性を高める視点	効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上	効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上	効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上